

# Technics<sup>®</sup>



## 取扱説明書

ネットワーク / スーパーオーディオ CD プレーヤー

SL-G700M2

音楽は、国を越えて、世代を越えて、  
人の心を揺さぶり続けます。  
そして時代はいつも、  
新しい感動を求めています。  
まだ経験したことのない音との出会い。  
音楽を愛するすべての人に、  
再び心ふるわせる喜びを。

Rediscover Music™

**Technics**

最高水準の感動を、  
世界へお届けできる時がきました。

Technics は、音と人との関係を大切に思い、  
音楽を愛するすべての人に音楽の感動を提供し続け、  
世界中の音楽文化の発展に貢献したいと考えています。  
これが私たちの掲げたフィロソフィーです。  
音をめぐる数々の出会いと経験が凝縮された今ここに、  
Technics の理想をめざす、という確信が生まれました。  
すべてにおいて最高クラスの品格と完成度をめざし、  
世界中の人々から、憧れを抱いていただける、  
幸せを感じていただけるブランドでありたいと願っています。

ディレクター  
小川理子

A handwritten signature in black ink that reads "Michiko Ogawa". The signature is written in a cursive, flowing style with a long horizontal stroke at the end.

このたびは、テクニクス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(05～07 ページ) を必ずお読みください。
- 保証書(別添付)は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

#### ■ 本書内の表現について

- 参照していただくページを(⇒ ○○)で示しています。
- イラストや画面表示が実物と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。
- 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 本書における本体のイラストはシルバーモデルのものです。

## もくじ

安全上のご注意 (必ずお守りください)	05	
取り扱いについて	08	
各部の名前と働き	09	
基本	外部機器 / 電源コードを接続する	12
	ネットワークに接続する	13
	音楽を再生する	17
無線機能使用上のお願い	19	
著作権について	20	
仕様	21	
保証とアフターサービス (よくお読みください)	23	

さらに詳しい使いかたを知りたいときは、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください

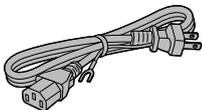
- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)は、Webサイトからダウンロードできます。  
[jp.technics.com/support/downloads/oi/SL-G700M2.html](http://jp.technics.com/support/downloads/oi/SL-G700M2.html)



- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)を閲覧・印刷するためには、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードできます。(2022年9月現在)  
<https://get.adobe.com/reader/>

## 付属品

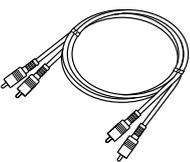
電源コード (1本)  
K2CF3YY00016



システム接続ケーブル (1本)  
K2KYYYY00233



アナログ音声ケーブル(1本)  
K4EY4YY00003



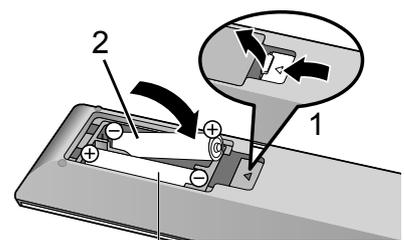
リモコン (1個)  
N2QAYA000240



リモコン用乾電池  
(単4形、2個)



#### ■ リモコンの電池の入れかた



単4形乾電池 (付属)

#### お知らせ

- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 本体のリモコン受信部(⇒ 09)に、まっすぐにに向けて操作してください。
- 不要になった電池を捨てるときは、地域条例に従って処理してください。  
ショートによる液もれ・発熱・破裂の原因になりますので、端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。

- 付属品の品番は2022年9月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。  
また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 <b>警告</b> 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	 <b>注意</b> 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
---	--

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
--	--

## 警告

 電源プラグを抜く

異常・故障時には直ちに使用を中止する  
異常があったときには、電源プラグを抜く

- ・煙が出たり、異常なおいや音がある
- ・音が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ・電源プラグがすぐ抜けるよう、本機は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置してください。
- ・電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

 電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- ・抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- ・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因にもなります。

アース端子を電源コンセントに差し込まない

火災・感電の原因になります。

アース線の接続、取り外しは、電源プラグをコンセントに接続している状態では行わない

感電の原因になります。

- ・アース線の接続は、電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。
- ・アース線の取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

## 警告

 電池は誤った使いかたをしない

- ・指定以外の電池を使わない
- ・乾電池は充電しない
- ・加熱・分解したり、水などの液体の中へ入れたりしない
- ・⊕ と ⊖ を針金などで接続しない
- ・金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ・⊕ と ⊖ を逆に入れない
- ・新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- ・被覆のはがれた電池は使わない
- ・火のそばや炎天下など高温の場所で使用・放置しない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはずすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- ・液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- ・万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- ・機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- ・特にお子様にはご注意ください。

 **警告**



ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

**自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない**

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

**心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm 以内で本機を使用しない**

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

**病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない**

本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



分解禁止

**分解、改造をしない**

• 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。



ぬれ手禁止

**ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**

感電の原因になります。



**使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す**

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

**電源プラグのほこり等は定期的にとる**

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

• 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

**電源プラグは根元まで確実に差し込む**

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

• 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

**アース線の接続は確実にを行う**

本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アース接続は確実に行ってご使用ください。感電の原因になります。

• アース工事は専門業者にご依頼ください。

 **警告**



宅外からの操作時には、本機やその周辺、在室する人など、事前に安全を十分確認する

けが・事故の原因になります。

**遠隔操作ができなくても、人や財産に悪影響がでないことを事前に確認する**

運転や停止ができず、けがや事故、動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

**ネットワークやインターネットの通信環境や使用状況、ネットワーク障害などにより、遠隔操作が利用できない場合がある**

運転や停止ができず、けがや事故、動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

## 注意



不安定な場所に置かない  
高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない  
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない  
接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。  
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本体のアンテナやつまみをつかんで持ち上げたり、運んだりしない  
落下すると、けがの原因になることがあります。  
• また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない  
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。  
• また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

放熱を妨げない  
内部に熱がこもると、火災や誤動作の原因になることがあります。  
• 本機は、本棚やラックなど狭い空間に設置しないでください。  
• 本機を新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げないでください。  
• また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない  
温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。  
• 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。  
• また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない  
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

本体のアンテナを目や顔に近づけない、人に向けない  
アンテナの先端に接触して、けがの原因になることがあります。  
• アンテナを使用するときは、十分注意してください。

## 注意



本機の上に火のついたろうソクのような裸火を置かない



雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない  
感電の原因になります。



長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す  
液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる  
音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。  
• 音量は少しずつ上げてご使用ください。



長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く  
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。  
• ディスクや USB メモリー等は、保護のために取り出し、または取り外しておいてください。



ディスクトレイに指をはさまれないように注意する  
けがの原因になることがあります。  
• 特にお子様にはご注意ください。

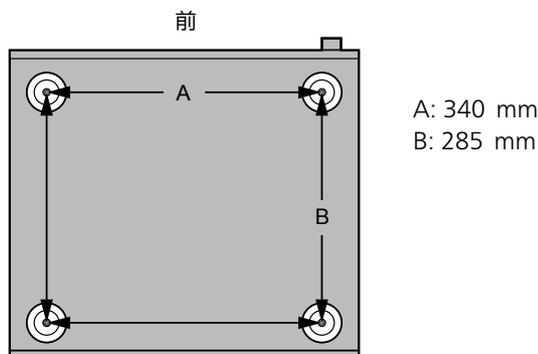
付属品は販売店で買い求めいただけます。  
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。  
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループの  
ショッピングサイト  
<https://ec-plus.panasonic.jp/>



## 本機の設置

- 本機を移動させるときは、CDを取り出し、アンテナをたたみ、接続している機器をすべて取り外して電源を切って移動してください。また、引きずらず、持ち上げて移動してください。
- 熱源となるものの上に設置しないでください。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
- 「つゆつき」が起りにくい場所に設置してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- ものを上に載せないでください。
- 本棚の中など狭い空間に設置しないでください。
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。
- 本機は、温帯気候での使用を意図して設計されています。
- 設置場所が本機の重量に十分耐えられることをご確認ください。(⇒ 21)
- 本機の外形寸法 (⇒ 21)
- 本機底面の脚の寸法は以下の通りです。



## つゆつき（結露）について

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
  - 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
  - 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
  - 梅雨の時期
- 「つゆつき」が起きたときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約2～3時間）、電源を切ったまま放置してください。

## お手入れ

- 電源プラグをコンセントから抜き、柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、柔らかい布で軽くふいてください。
  - ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

## 専用アプリ「Technics Audio Center」を使う

- お使いのスマートフォンやタブレットに専用アプリ「Technics Audio Center」（無料）をインストールすると、ネットワーク接続している機器にある音楽を本機で再生したり、インターネットに接続して、音楽ストリーミングサービスを利用し本機で再生することができます。
- 詳しくは下記をご覧ください。  
[jp.technics.com/support/](http://jp.technics.com/support/)
- 本アプリは予告をしたうえで変更・停止する場合があります。

## ファームウェアを更新する

- 動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のファームウェアを必要に応じて更新しています。これらのアップデートは無料でご利用できます。
- ファームウェアの更新内容については下記のサイトをご確認ください。  
[jp.technics.com/support/firmware/](http://jp.technics.com/support/firmware/)

## 本機の設定をお買い上げ時の状態

### （工場出荷設定）に戻すには

- ① 本機の電源が入っている状態で [NWP] を押す
- ② [SETUP] を押す
- ③ [▲][▼] を押して「Initialization」を選び、[OK] を押す
- ④ [▲][▼] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す
  - 確認画面が表示されます。次の手順で「Yes」を選ぶと、リモコンモードなどのすべての設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。
- ⑤ [▲][▼] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す

## 廃棄 / 譲渡するとき

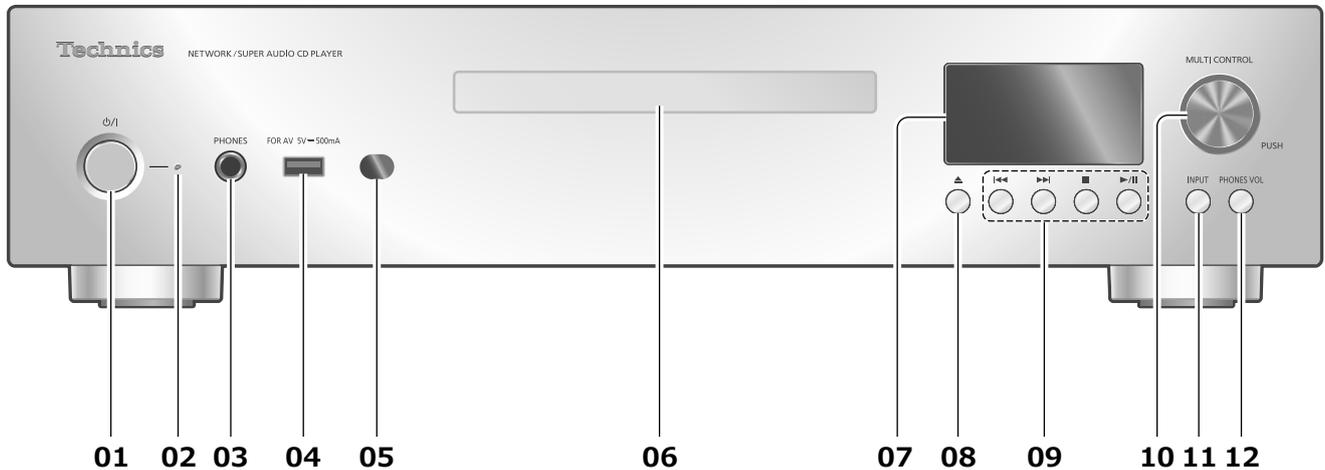
- 本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。（上記）
- アカウントの不正利用を防ぐために、本機を廃棄または第三者へ譲渡するときは必ず音楽ストリーミングサービスのアカウントをログアウトしてください。
  - 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

## ソフトウェアの利用に関し順守すべき事項について

本製品および本アプリをご利用いただくお客様に対し、当社は以下の内容に関わる注意事項をサイトで公開・周知しています。

- 本製品に内蔵のソフトウェアの更新
  - アプリなどを通じて当社が提供するサービス
  - パーソナルデータの収集・利用・第三者への提供
  - 当社以外の第三者が運営するサービス
  - ソフトウェアライセンスの表示
  - 当社以外の第三者と連携する本製品の機能およびサービス
- 詳しくは下記のサイトをご覧ください。  
[jp.technics.com/support/](http://jp.technics.com/support/)

## 本体前面



## 01 [ 0/I ] 電源ボタン

- 電源を入 / 切します。

## 02 電源インジケータ

- 電源「入」時は、青色に点灯します。
- スタンバイ時は、赤色に点灯します。
- 電源「切」時は、消灯します。

## 03 ヘッドホン端子

## 04 USB-A 端子 (USB-A Front) (AV 用)

(音声入力、DC 5 V  $\equiv$  500 mA)

- USB メモリーを本機に接続して、USB メモリーに保存している音楽を再生することができます。(⇒ 18)
- バージョンアップ用 USB メモリーを接続して、本機のファームウェアを必要に応じて更新することができます。詳しくは、下記のサイトをご確認ください。  
[jp.technics.com/support/firmware/](http://jp.technics.com/support/firmware/)

## 05 リモコン受信部

- 受信範囲：  
正面…約 7 m 以内、左右…各約 30°
- 受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

## 06 ディスクトレイ

(⇒ 17)

## 07 表示窓

- 入力ソースや再生情報などを表示します。

## 08 [ ▲ ] ディスクトレイ開 / 閉ボタン

## 09 再生操作ボタン

(例：CD 再生時)

停止	[ ■ ]
再生 / 一時停止	[ ▶/   ] • 再開するには [ ▶/   ] を押す
曲を飛ばす (スキップ)	[ ◀◀ ] [ ▶▶ ]
早送り・早戻し (サーチ)	[ ◀◀ ] [ ▶▶ ] を 押したままにする

## 10 マルチコントロールつまみ

- 左右に回して入力ソースの切り換えや、画面表示の切り換えに使用します。
- 表示内容を決定したいときは短く、設定画面に入りたいときは長く押ししてください。

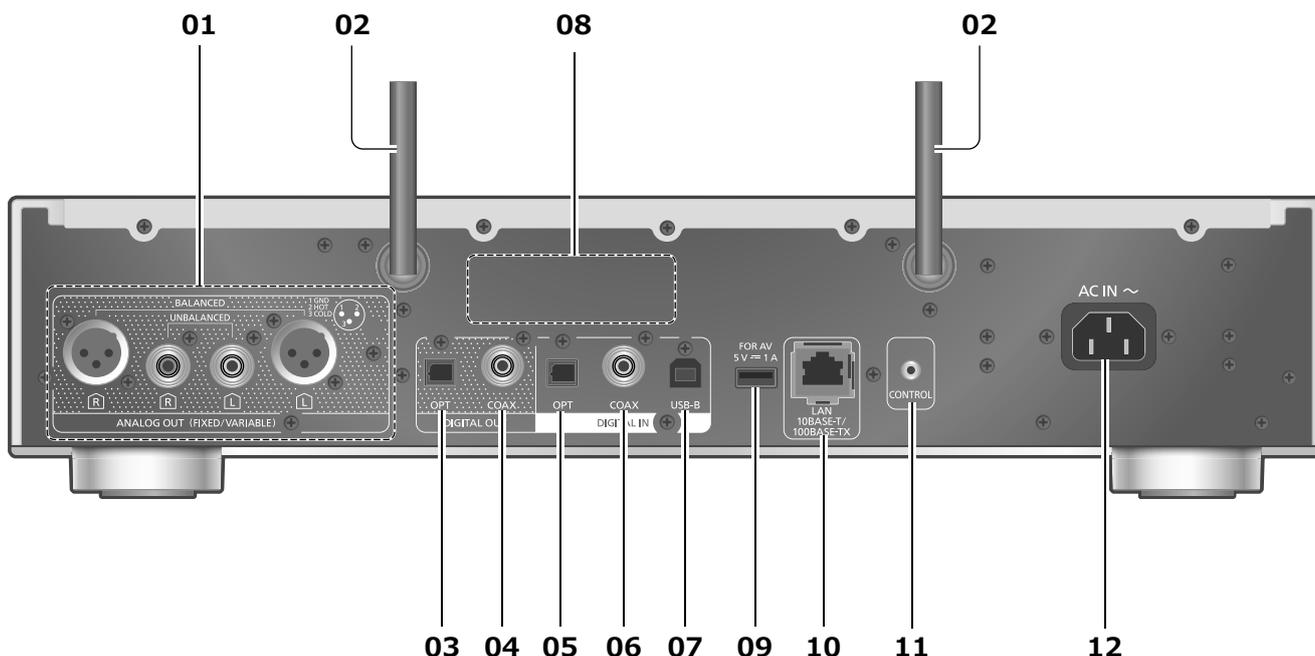
## 11 入力切換ボタン

- 本機の入力ソースを切り換えます。

## 12 ヘッドホン音量ボタン

- ヘッドホン音量が表示されます。  
(表示中は、マルチコントロールつまみを使って音量を調整できます。)
- -- dB (最小)、-99.0 dB ~ 0 dB (最大)

## 本体背面



### 01 アナログ音声出力端子 (ANALOG OUT)

- 入力端子がアンバランスタイプのプリアンプなどを付属のアナログ音声ケーブルで本機に接続して、本機の音楽を出力することができます。
- 入力端子がバランスタイプのプリアンプは、XLR ケーブル (市販品) で本機に接続することができます。

### 02 アンテナ (⇒ 14)

### 03 光デジタル出力端子 (OPT)

D/A コンバーターなどのデジタル入力機器を光デジタルケーブル (市販品) で本機に接続して、本機の音楽を出力することができます。

### 04 同軸デジタル出力端子 (COAX)

D/A コンバーターなどのデジタル入力機器を同軸デジタルケーブル (市販品) で本機に接続して、本機の音楽を出力することができます。

### 05 光デジタル入力端子 (OPT)

デジタル出力機器を光デジタルケーブル (市販品) で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。

- 本機のデジタル音声入力は、以下のリニア PCM 信号のみに対応しています。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。

- サンプル周波数 :

32、44.1、48、88.2、96 kHz

- 量子化ビット数 :

16、24 bit

### 06 同軸デジタル入力端子 (COAX)

デジタル出力機器を同軸デジタルケーブル (市販品) で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。

- 本機のデジタル音声入力は、以下のリニア PCM 信号のみに対応しています。詳しくは接続機器の説明書をご確認ください。

- サンプル周波数 :

32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz

- 量子化ビット数 :

16、24 bit

### 07 USB-B 端子 (USB-B)

パソコンなどを USB2.0 ケーブル (市販品) で本機に接続して、パソコンなどにある音楽を再生することができます。

- 詳しい操作については、「取扱説明書 活用ガイド」をご確認ください。

### 08 定格銘板

- 製品品番は定格銘板内に記載されています。

### 09 USB-A 端子 (USB-A Rear) (AV 用) (音声入力、DC 5 V ≒ 1 A)

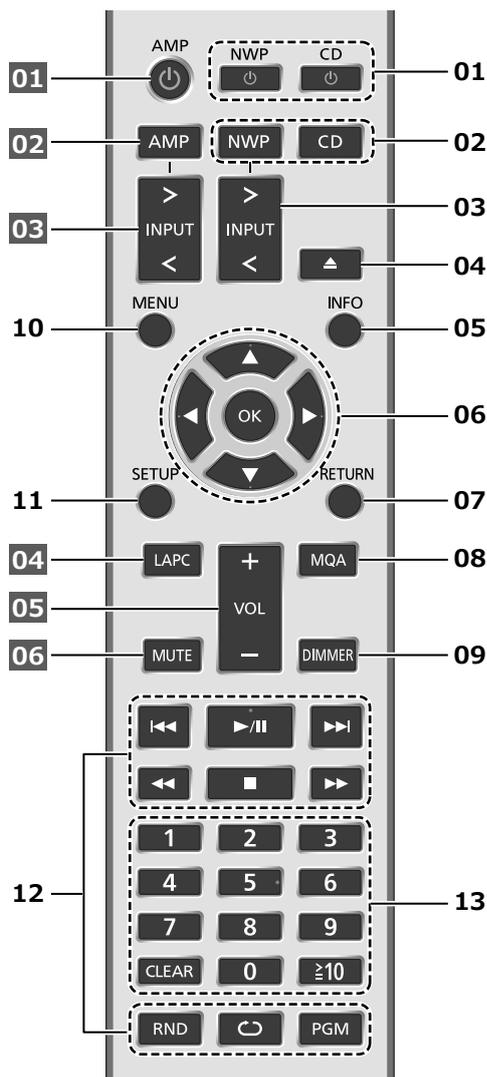
USB 接続の HDD (ハードディスク) を接続して、HDD に保存している音楽を再生することができます。(⇒ 18)

### 10 LAN 端子 (⇒ 13)

### 11 システム端子 (CONTROL)

### 12 AC IN 端子 (〜) (⇒ 12)

## リモコン



### ■ 本機に働くボタン

- 01 [NWP 〇] [CD 〇] : 本機の状態（電源入 / 切）を切り換える
- それぞれの入力ソースに切り換わります。（[NWP 〇]の場合は、最後に選択していた入力ソースに切り換わります。）
- 02 [NWP] [CD] : 操作する機器を選ぶ
- スーパーオーディオ CD ハイブリッドディスクの再生停止中に [CD] を押すと現在のレイヤーを表示し、再度押すと再生するレイヤーが切り換わります。
  - [CD] を 5 秒以上、押したままにして「Pure Disc Playback」モードに切り換えることができます。（⇒ 18）

- 03 [>INPUT<] : 本機の入力ソースを切り換える
- 04 [▲] : ディスクトレイを開閉する
- 05 [INFO] : 情報を表示する\*
- 06 [▲, ▼, ◀, ▶] [OK] : メニューや設定画面などで選んで決定する\*
- 07 [RETURN] : 前の画面に戻る\*
- 08 [MQA] : MQA<sup>®</sup> デコード機能の「On」 / 「Off」を切り換える
- 「On」に切り換えると「MQA Decoding : On」と表示されます。
  - 押すたびに切り換わります。
- 09 [DIMMER] : 電源インジケータや表示窓などの明るさを変える
- 押すたびに明るさが切り換わります。
- 10 [MENU] : メニュー画面に入る\*
- 11 [SETUP] : 設定画面に入る\*
- 12 再生操作ボタン（⇒ 17）
- 13 数字ボタン : 番号を選ぶ
- 2桁以上の番号を選ぶには [ ≥ 10 ] を押してから数字ボタンを押す
  - 例 : 「12」は [ ≥ 10 ] → [ 1 ] → [ 2 ]
  - 「124」は [ ≥ 10 ] → [ ≥ 10 ] → [ 1 ] → [ 2 ] → [ 4 ]
  - [CLEAR] : 入力した数値を取り消す

※ : 本機を操作するときは、まず [NWP] を押してから操作してください。（[AMP] を押すと、本機のリモコンは Technics のそれぞれの対応機器に働いて、本機に働かない状態になります。）

### ■ 他の Technics 機器に働くボタン

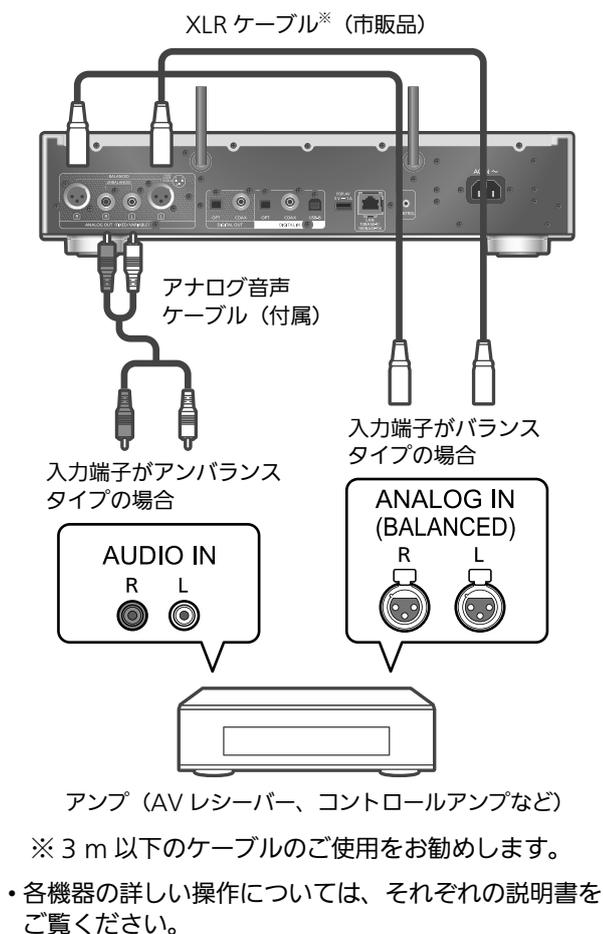
本機のリモコンは、他の Technics 機器（ステレオインテグレートッドアンプなど）にも働きます。詳しい操作方法は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

- 01 [ 〇 ] 状態（電源入 / 切）を切り換える
- 02 操作する機器を選ぶ
- 03 入力ソースを切り換える
- 04 スピーカー接続時の出力信号を測定し、出力を補正する
- 05 音量を調節する
- 06 一時的に消音する

### お知らせ

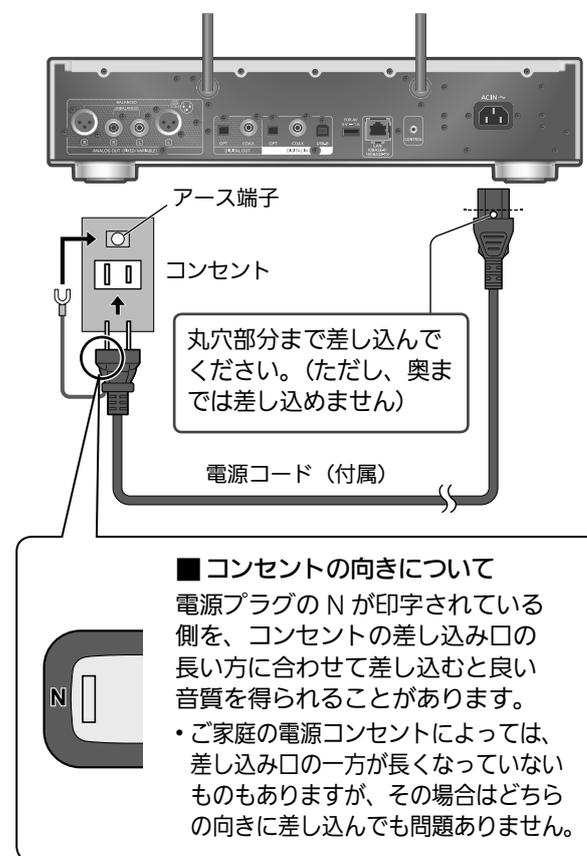
- 本機を操作する場合は、本機を見える位置で行ってください。

## アンプを接続する



## 電源コードの接続

電源コードはすべての接続が終わったあと、接続してください。



- ・電源コードは、必ず付属のものをご使用ください。
- ・ケーブルを急な角度で折り曲げないでください。
- ・電源を入れ、「Wi-Fi Setup」が表示された場合、無線 LAN 接続設定をしないときは「No」を選んで [OK] を押してください。無線 LAN 接続設定をするときは、「Yes」を選んで [OK] を押してください。(⇒ 14)
- ・本機を操作するときは、まず [NWP] を押してから操作してください。

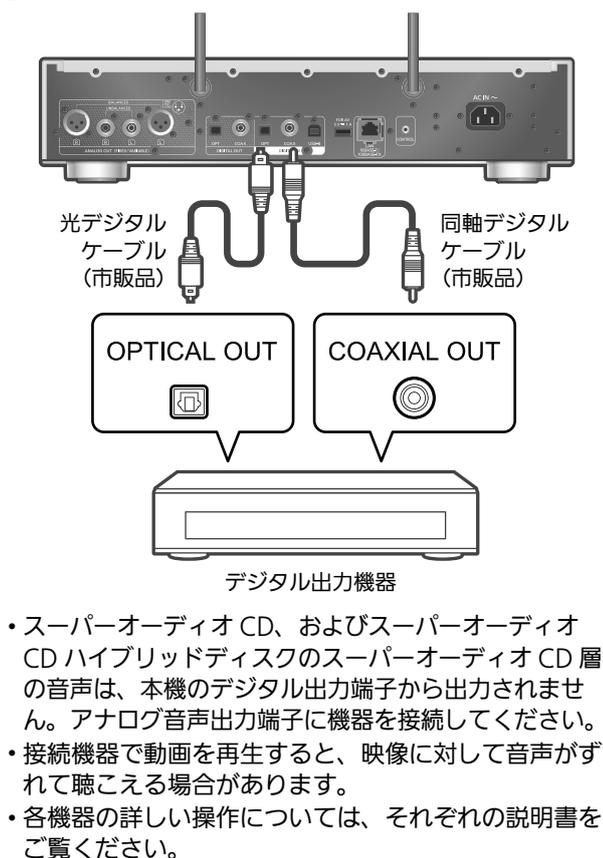
### お願い

- ・電源プラグがすぐに抜ける位置にあるコンセントをお使いください。
- ・アース線先端のキャップを外し、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前にアース接続を行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

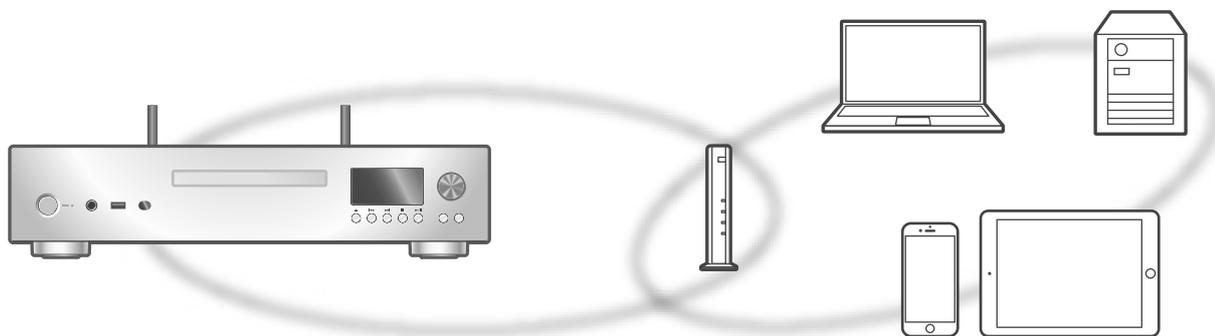
### お知らせ

- ・本機が電源「切」状態でも、電源は完全には切れません。長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。本機が電源「切」状態でも、電力を消費しています。(電源「切」時の消費電力 ⇒ 21)

## デジタル出力機器を接続する



本機をインターネットにつながったネットワークに接続することにより、音楽ストリーミングサービスやネットワーク機器にある音楽などを本機でお楽しみいただけます。



本機は、ブロードバンドルーターと有線 LAN または無線 LAN (Wi-Fi®) で接続することができます。ネットワーク接続時の安定した再生のためには有線 LAN をお勧めします。

## お知らせ

- 電源を入れた直後にネットワークの設定を行うと開始までに時間がかかることがあります。
- ネットワーク接続完了後、「Firmware update is available」と表示された場合、本機のファームウェアを更新することができます。  
-ファームウェアの更新内容については下記のサイトをご確認ください。  
[jp.technics.com/support/firmware/](http://jp.technics.com/support/firmware/)
- 本機は、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを経由して接続してください。

## ■ 準備する

お使いのスマートフォンやタブレットに「Technics Audio Center」アプリをインストールして、接続設定ができます。

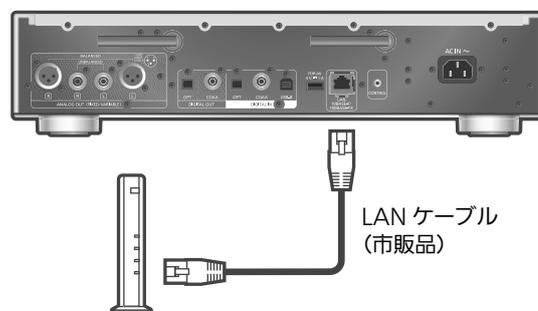
- Google Cast™ 対応アプリから本機で音楽を再生する場合、「Technics Audio Center」アプリから接続設定を行ってください。
- AirPlay の機能を使って本機で音楽を再生する場合、Apple Home アプリのホームに本機を追加してください。Apple Home アプリから接続設定をした場合、Siri を使用して音楽再生をすることもできます。
- お使いのスマートフォンやタブレットの Wi-Fi 機能と Bluetooth® 機能を「入」にしてください。

- 1 お使いのスマートフォンやタブレットに「Technics Audio Center」アプリをインストールする (⇒ 08)



- 2 本機を接続するネットワークに、あらかじめスマートフォンやタブレットを接続しておく  
• インターネットにつながったネットワークに接続してください。

## 有線 LAN 接続



ブロードバンドルーターなど

- 1 本機の電源コードを抜く
- 2 本機とブロードバンドルーターなどを LAN ケーブルで接続する
- 3 本機に電源コードを接続する (⇒ 12)
- 4 [NWP 〇]/[CD 〇] を押して電源を入れる  
• 表示窓に有線 LAN 接続を示す「」が表示されます。
- 5 [>INPUT<] を押して入力ソースを「Google Cast」に切り換える
- 6 「Technics Audio Center」アプリを起動して画面の指示に従って操作する

# ネットワークに接続する（続き）

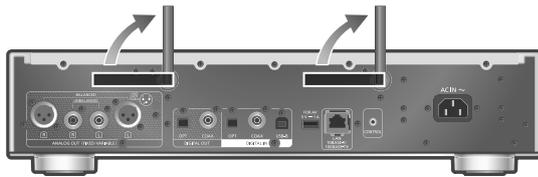
## お知らせ

- LAN ケーブルの抜き差しは電源コードを取り外した状態で行ってください。
- カテゴリ7 LAN ケーブル STP ストレート結線（シールドタイプ）をご使用ください。
- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- LAN ケーブルを接続して電源を切 / 入すると、Wi-Fi 接続が無効になる場合があります。
- 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線 LAN ルーター、回線端末装置）に接続してください。

## 無線 LAN 接続

### ■ 準備する

- ① 本機の電源コードを抜く
- ② LAN ケーブルを取り外す
- ③ 本機を無線ブロードバンドルーターのなるべく近くに置く
- ④ 本機背面のアンテナを垂直に立てる



- ⑤ 本機に電源コードを接続する（⇒ 12）

### お願い

- アンテナを後ろに倒すなど、無理な力を加えないでください。また、アンテナをつかんで本機を持ち運ばないでください。アンテナが破損するなど故障の原因になります。

## お知らせ

- ネットワーク設定は、時間がかかると中止されることがあります。その場合、設定をやり直してください。
- 無線ネットワークの接続や設定操作を中止するには [■] を押すか、電源を切ってください。
- 本機は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯で使用することができます（⇒ 21）。ネットワークへの接続は、IEEE802.11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）のブロードバンドルーターの使用をお勧めします。
- 無線 LAN 接続が完了すると、表示窓に無線 LAN 接続を示す「☎」が表示されます。

アプリを使って初めてネットワーク接続設定をする

- 1 [NWP 〇]/[CD 〇] を押して電源を入れる
  - ・「Wi-Fi Setup」が表示されます。
- 2 [▲] [▼] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す
  - ・「Setting」が表示されます。
- 3 「Technics Audio Center」アプリを起動する
- 4 「新しい本体の無線セットアップはこちら」を選ぶ



- 5 本機を選び、画面の指示に従ってネットワークに接続する



## お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Technics-SL-G700M2-\*\*\*\*」と表示されます。（「\*\*\*\*」は機器に固有の文字を表しています）
- 「Technics Audio Center」アプリからネットワーク情報（SSID、MAC アドレス、IP アドレス）を確認することができます。
- Wi-Fi 機能の設定を途中で中止し、その後に本機の電源を切 / 入すると、再度「Wi-Fi Setup」が表示されます。設定を行うか、「Wi-Fi Menu」を「Off」に設定すると以降は表示されません。

## 設定メニューからネットワークの接続設定をする（アプリを使わないとき）

- Google Cast に対応したアプリから本機で音楽を再生する場合（⇒ 16）、「Technics Audio Center」アプリから接続設定を行ってください。（⇒ 16）

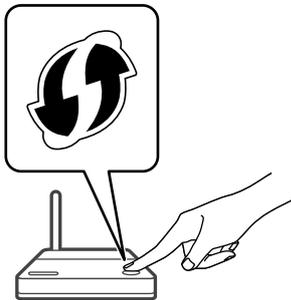
### ■ WPS プッシュボタンで接続する「WPS」

お使いの無線ブロードバンドルーターが WPS に対応している場合、WPS ボタンを押して本機と無線 LAN 接続することができます。

- WPS（Wi-Fi Protected Setup™）方式に対応している無線ブロードバンドルーターには WPS マークがあります。
- 「WPS」が表示されてから 2 分以内に設定を行ってください。
- 本機の電源を入れた時に「Wi-Fi Setup」が表示される場合は、[■]を押して、「Wi-Fi Setup」画面を消してから、やりなおしてください。

- 1 [NWP] を押す
- 2 [SETUP] を押す
- 3 [▲][▼]を押して「Network」を選び、[OK]を押す
  - 「Wi-Fi Menu」画面が表示されたら、[OK]を押します。
- 4 [▲][▼]を押して「On」を選び、[OK]を押す（Wi-Fi 機能が有効になります）
- 5 [▲][▼]を押して「WPS Push」を選び、[OK]を押す
  - 「WPS」が点滅します。2 分以内に手順 6 を行ってください。
- 6 「WPS」表示後、無線ブロードバンドルーターの WPS ボタンを押す

例：WPS マーク



- 「Linking」が点滅します。
- 接続が完了すると、表示窓に「Success」と表示されます。
  - 接続できなかった場合、表示窓に「Fail」と表示されます。設定メニューからネットワークの接続設定をやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください。

- 7 [OK] を押して接続設定を終了する

### ■ WPS PIN コード方式で接続する「WPS PIN」

お使いの無線ブロードバンドルーターが WPS に対応している場合、PIN コードを入力することで本機と無線 LAN 接続することができます。

- ルーターの取扱説明書などで、PIN コードの入力方法を調べておいてください。
- 8桁の PIN コードが表示されてから 2 分以内に設定を行ってください。
- 本機の電源を入れた時に「Wi-Fi Setup」が表示される場合は、[■]を押して、「Wi-Fi Setup」画面を消してから、やりなおしてください。

- 1 [NWP] を押す
- 2 [SETUP] を押す
- 3 [▲][▼]を押して「Network」を選び、[OK]を押す
  - 「Wi-Fi Menu」画面が表示されたら、[OK]を押します。
- 4 [▲][▼]を押して「On」を選び、[OK]を押す（Wi-Fi 機能が有効になります）
- 5 [▲][▼]を押して「WPS PIN」を選び、[OK]を押す
  - 8桁の PIN コードが表示されます。2 分以内に手順 6 を行ってください。
- 6 パソコンなどからルーターに接続し、手順 1 で表示された PIN コードを入力する
  - 「Linking」が点滅します。
  - 接続が完了すると、表示窓に「Success」と表示されます。
    - 接続できなかった場合、表示窓に「Fail」と表示されます。設定メニューからネットワークの接続設定をやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください。
- 7 [OK] を押して接続設定を終了する

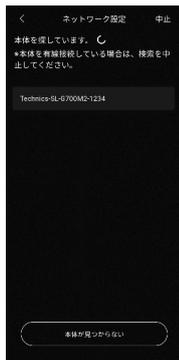
#### お知らせ

- 無線ブロードバンドルーターによっては他の無線機器の接続が一時的に切断されることがあります。
- 無線ブロードバンドルーターの使いかたなど詳細については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

## 無線セットアップを再設定する

- 1 [NWP] を押す
- 2 [>INPUT<] を押して入力ソースを「Google Cast」に切り換える
- 3 [SETUP] を押す
- 4 [▲][▼] を押して「Network」を選び、[OK] を押す
  - 「Wi-Fi Menu」画面が表示されたら、[OK] を押します。
- 5 [▲][▼] を押して「On」を選び、[OK] を押す（Wi-Fi メニューが有効になります）
- 6 [▲][▼] を押して「Wi-Fi Setup」を選び、[OK] を押す
  - 「Setting」が表示されます。
- 7 「Technics Audio Center」アプリを起動する
- 8 「新しい本体の無線セットアップはこちら」を選ぶ

- 9 本機を選び、画面の指示に従ってネットワークに接続する



### お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Technics-SL-G700M2-\*\*\*\*」と表示されます。（「\*\*\*\*」は機器に固有の文字を表しています）
- 「Technics Audio Center」アプリからネットワーク情報（SSID、MAC アドレス、IP アドレス）を確認することができます。

## ネットワークの音楽を聴く

本機では Google Cast に対応したアプリをお使いいただけます。Google Cast に対応したアプリの情報については下記のサイトをご覧ください。

[g.co/cast/apps](https://g.co/cast/apps)

また、「Technics Audio Center」アプリを使って、ネットワーク接続している機器にある音楽を本機で再生することもできます。「Technics Audio Center」アプリのインストールについては下記をご覧ください。

[jp.technics.com/support/](https://jp.technics.com/support/)

### ■ 準備する

- ネットワーク設定をする。（⇒ 13）  
（音楽ストリーミングサービスを利用する場合は、インターネットにつながったネットワークに接続してください）
- お使いの機器（スマートフォンやタブレットなど）に対応したアプリをインストールする。
- 接続する機器をご家庭でお使いのネットワークに接続する。

- 1 お使いの機器（スマートフォンやタブレットなど）から Google Cast 対応アプリ、AirPlay 対応アプリまたは「Technics Audio Center」アプリを起動して本機を選択する
- 2 音楽を再生する

### お知らせ

- 「WPS PIN」または「WPS Push」から接続設定をした場合、Google Cast 対応アプリは利用できません。Google Cast に対応したアプリから本機で音楽を再生する場合（⇒ 16）、「Technics Audio Center」アプリから接続設定を行ってください。（⇒ 16）
- 本機を操作する場合は、本機を見える位置で行ってください。

すべての音楽ストリーミングサービスが利用できるわけではありません。音楽ストリーミングサービスを利用する場合は、登録 / 定期購入が必要になったり、使用料金が発生する場合があります。また、提供サービスは予告なく変更・停止する場合があります。詳しくは各音楽ストリーミングサービスのホームページをご覧ください。

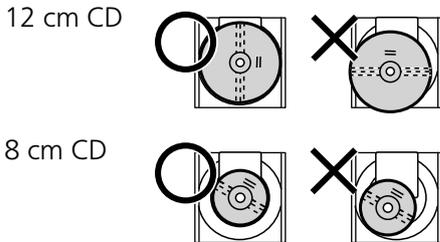
### 廃棄 / 譲渡するときのお願い

アカウントの不正利用を防ぐために、本機を廃棄または第三者へ譲渡するときは必ず音楽ストリーミングサービスのアカウントをログアウトしてください。

## CD/スーパーオーディオ CD の音楽を再生する

- 1 [NWP 〇]/[CD 〇] を押して電源を入れる
- 2 [▲] を押してディスクトレイを開き、CD を入れる

ラベル面を上、ディスクトレイの中央に正しく置きます。



• ディスクトレイを閉めるにはもう一度 [▲] を押します。

### 3 [▶/||] を押す

#### ■ くり返し聴く (リピートプレイ)

- ① [NWP] を押す
- ② [↶] を押す  
「1↶」:  
1 曲のみリピート再生  
「↶」:  
全曲をリピート再生

#### ■ 順不同で聴く (ランダムプレイ)

- ① [NWP] を押す
- ② [RND] を押す  
• もう一度押すと解除されます。

#### ■ 曲を選んで聴く (プログラムプレイ)

- ① [NWP] を押す
- ② 停止中に [PGM] を押す  
• 「Program Mode」画面が表示されます。
- ③ 追加したい曲の数字ボタンを押す  
• 続けて選ぶときはこの手順を繰り返します。
- ④ [▶/||] を押す  
• プログラムプレイ停止中に、[◀][▶] を押すと、曲の順番を確認できます。  
• プログラムプレイ停止中に、[CLEAR] を押すと、最後の 1 曲を取り消します。  
• プログラムプレイ停止中に、[PGM] を押すと、プログラム内容は保持して通常の再生に戻ります。  
• プログラムプレイ停止中に、[■] を押し「Yes」を選ぶと、プログラム内容を取り消して通常の再生に戻ります。

#### お知らせ

- 以下の場合に、プログラム内容は取り消されます。  
- 電源を切 / 入する  
- CD を取り換える  
- レイヤーを切り換える
- ランダムプレイを設定すると、プログラムプレイが解除されます。

#### ■ スーパーオーディオ CD ハイブリッドディスクの再生について

スーパーオーディオ CD ハイブリッドディスクは、スーパーオーディオ CD 層と CD 層の 2 層構造になっています。

スーパーオーディオ CD 層を優先的に再生しますが、再生停止中に [CD] を押して、CD 層とスーパーオーディオ CD 層のどちらのレイヤーを再生するか選択することができます。

#### お知らせ

- ハイブリッドディスク以外のスーパーオーディオ CD の場合は、レイヤーは切り換えられません。
- スーパーオーディオ CD の再生中は、入力ソースは「Super Audio CD」と表示されます。

#### ■ 使用できる CD

- マークの付いた CD
- CD-DA フォーマットで記録された音楽用の CD-R/CD-RW (ファイナライズ※されたもの)  
- 記録状態によっては再生できない場合があります。  
※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

#### ■ 使用できない CD

- ハート型など、特殊形状の CD  
(故障の原因になります。)

#### ■ 使用を保証していない CD

- 違法にコピーしたディスクや規格外ディスク
- ディスクの両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたデュアルディスク

#### ■ 本機で再生できるディスクフォーマット

スーパーオーディオ CD	○ (2 チャンネルエリアのみ)
市販の音楽 CD (CD-DA)	○
CD-R/CD-RW (CD-DA)	○

#### ■ 取り扱い上のお願い

CD そのものの破損や、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- ディスククリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどを使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

#### 持ちかた



再生面 (光っている面) には触れない

## 音楽を再生する（続き）

### 汚れたときは

- 水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



### つゆがついたら

- 急に暖かい室内に持ち込んだときなど、つゆがついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

### ■ こんなときは

#### 本体表示窓が変わらない、再生が始まらない

- CD が傷ついていたたり、汚れていたりしませんか。
- 寒いところから急に暖かいところに持ってきたなど、急激な温度差で、レンズ部に「つゆつき」が生じることがあります。故障の原因になりますので、「つゆつき」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで（約 2～3 時間）、電源を切ったまま放置してください。
- ファイナライズしていない CD-R、CD-RW は再生することができません。

#### 再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多い CD の場合、読み込みに時間がかかることがあります。

### 「Pure Disc Playback」モードに切り換える

ネットワークなどの機能を無効にして CD / スーパーオーディオ CD 再生を単独に動作させることで、より高音質な再生を行います。

- ① [CD] を 5 秒以上、押したままにする
  - 確認画面が表示されます。
- ② [OK] を押す
- ③ [▲][▼] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す

#### お知らせ

- 「Technics Audio Center」などのアプリからスピーカーとして本機が表示されなくなります。
- 再度 [CD] を 5 秒以上押したままにすると通常モードに戻ります。
- 「Pure Disc Playback」モード中は、音楽ストリーミングサービスやネットワーク機器にある音楽を再生するなど、CD / スーパーオーディオ CD 再生以外の機能が利用できなくなります。
- 「Pure Disc Playback」を「On」に設定するとディマー機能が働き、表示窓が消灯します。明るさを変更するときは [DIMMER] を押してください。（⇒ 11）

### USB メモリーの音楽を再生する

- ① USB メモリーを本機前面 / 背面の USB-A 端子 (USB-A Front/USB-A Rear) に接続する（⇒ 09、10）
- ② [NWP] を押す
- ③ [>INPUT<] を押して入力ソースを「USB-A Front」 / 「USB-A Rear」に切り換える

- ④ [▲][▼] を押してコンテンツを選び、[OK] を押す
  - さらに他の項目がある場合は、この操作を繰り返してください。
  - [RETURN] を押すと、1 つ前の階層に戻ります。
  - CD 再生と同様にリピートプレイ、ランダムプレイができます。（⇒ 17）

### Bluetooth® 機器の音楽を聴く

Bluetooth® 機器の音楽を本機で再生することができます。

#### ■ Bluetooth® 機器を登録・接続する

本機と Bluetooth® 機器の電源を入れ、Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を有効にして本機に近づけてください。（本機と他の Bluetooth® 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。）

- ① [NWP] を押す
- ② [>INPUT<] を押して入力ソースを「Bluetooth」に切り換える
  - 表示窓に「Pairing」と表示されたら、手順 6 へ進んでください。
- ③ [MENU] を押す
- ④ [▲][▼] を押して「Pairing」を選び、[OK] を押す
- ⑤ [▲][▼] を押して「Yes」を選び、[OK] を押す
  - 表示窓に「Pairing」と表示され、登録待機状態になります。
- ⑥ Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「Technics-SL-G700M2-\*\*\*\*」を選んで接続する
  - Google Home アプリから本機の名前を設定した場合は、設定した名前が表示されます。

### MQA 音源をデコードする

この製品には MQA オーディオファイルとストリームの再生が可能な MQA (Master Quality Authenticated) の技術がライセンスされており、オリジナルマスター音源のサウンドを提供します。

詳しくは「取扱説明書 活用ガイド」をご確認ください。MQA 音源をマスター・クオリティの音質で再生するには、MQA デコード機能を「On」にする必要があります。

以下の手順で本機の MQA デコード機能の「On」/「Off」を切り換えてください。

- 初期の設定は「On」です。

- ① [MQA] を押す
  - 表示窓に「MQA Decoding : On」と表示され、MQA デコード機能が「On」になります。（もう一度押すと、MQA デコード機能が「Off」になります。）
- ② MQA 音源を再生する
  - MQA 音源をより良い音質で再生するには、「Digital Output」を「Off」に設定し、アナログ出力で再生してください。

### ■ 使用周波数帯

内蔵無線機器は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

### ■ 周波数表示の見方

周波数表示は、定格銘板に記載しています。

① ③ ④	① ⑤ ⑥ ⑦	
2.4DS/OF4	2.4FH/XX1	
②	⑧	

- ① 2.4 GHz 帯を使用
- ② 2.400 GHz ~ 2.4835 GHz の全帯域を使用
- ③ 変調方式が DSSS と OFDM 方式
- ④ 電波干渉距離 40 m 以下
- ⑤ 変調方式が FH-SS 方式
- ⑥ その他の方式
- ⑦ 電波干渉距離 10 m 以下
- ⑧ 全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避不可である

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえで、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：パナソニック  
DIGA(ディーガ)・オーディオ  
ご相談窓口 (⇒ 23)

### ■ 機器認定

内蔵無線機器は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線機器に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- ・分解 / 改造する
- ・定格銘板を消す / はがす
- ・5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

### ■ 使用制限

内蔵無線機器の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線機器の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- ・日本国内でのみ使用できます。
- ・利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。

無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID：ネットワークを識別するための名前）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。

- ・磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。

次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。

- 電子レンジ
- デジタルコードレス電話機
- その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
- 電波が反射しやすい金属物などの近く

- ・電波によるデータの送受信は、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。

- ・すべての Bluetooth® 機器との無線通信を保証するものではありません。

- ・無線通信する Bluetooth® 機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。

- ・Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時にご注意ください。

- ・ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

### ■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。

間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

- ・放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

- ・無線 LAN を使用中に Bluetooth® 機器の音が途切れたり雑音が入る場合は、無線 LAN のご使用をお控えください。

### ■ 用途制限

内蔵無線機器は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

- ※ ハイセイフティ用途：きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のこと。

例：原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御、など

本文に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、  
® マークは一部記載していません。


<p>“Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。 Wi-Fi Protected Setup™ ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。 “Wi-Fi®” は、“Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。 “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。</p>

<p>Works with Apple バッジの使用は、アクセサリがバッジに記載された技術で動作するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたことを示します。 Apple、AirPlay は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。 本機は AirPlay 2 対応製品です。iOS 11.4 以降が必要です。</p>

<p>Google、Google Play、Google Cast は Google LLC の商標です。</p>
<p>Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。</p>
<p>Windows Media, Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。 本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。</p>
<p>Mac および OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。</p>
<p>Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック ホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。</p>
<p>Super Audio CD は登録商標です。</p>

<p>SBM Direct は登録商標です。</p>
<p>DSD はソニー株式会社の登録商標です。</p>
<p>FLAC Decoder Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.</li> <li>- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.</li> <li>- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.</li> </ul>
<p>THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.</p>
<p>Spotify ソフトウェアは、以下に記載のサードパーティソフトウェアを利用しています。 <a href="https://www.spotify.com/connect/third-party-licenses">https://www.spotify.com/connect/third-party-licenses</a></p>
<p>QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。</p>

<p>MQA and the Sound Wave Device are registered trade marks of MQA Limited. © 2016</p>

## ■ 総合

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	45 W
電源スタンバイ時の消費電力	
Network Standby Off	0.2 W
Network Standby On <sup>※1</sup>	2.0 W
寸法 (幅×高さ×奥行)	430 mm × 98 mm × 407 mm
質量	約 12.3 kg
許容動作温度	5℃～35℃
許容相対湿度	35%～80% (結露なきこと)

※1：有線 LAN または無線 LAN 接続時

## ■ アナログ出力

チャンネル数	2 チャンネル
出力レベル	
バランス出力	2.2 Vrms (Super Audio CD) / 2.2 Vrms (CD)
アンバランス出力	2.2 Vrms (Super Audio CD) / 2.2 Vrms (CD)
周波数特性	
Super Audio CD	2 Hz～50 kHz (-3 dB)
CD	2 Hz～20 kHz (-3 dB)
総合ひずみ率	
Super Audio CD	0.0006% (JEITA)
CD	0.0015% (JEITA)
S/N 比	
Super Audio CD	バランス出力：121 dB (JEITA) アンバランス出力：118 dB (JEITA)
CD	バランス出力：121 dB (JEITA) アンバランス出力：118 dB (JEITA)
ダイナミックレンジ	
Super Audio CD	バランス出力：110 dB (JEITA) アンバランス出力：110 dB (JEITA)
CD	バランス出力：98 dB (JEITA) アンバランス出力：98 dB (JEITA)

## ■ CD 部

再生可能ディスク (8 cm または 12 cm)	Super Audio CD (2ch ステレオのみ)、CD、CD-R、CD-RW
ピックアップ	
波長	650 nm (Super Audio CD)、790 nm (CD)
レーザーパワー	CLASS 1
オーディオ出力 (ディスク)	2ch (FL, FR)
フォーマット	Super Audio CD、CD-DA

## ■ Bluetooth® 部

バージョン	Bluetooth® Ver. 4.2
送信出力	Class 2 (2.5 mW)
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	AAC、SBC

通信方式	2.4 GHz Band FH-SS
見通し通信距離	約 10 m <sup>※2</sup>

※2：温度 25℃、高さ 1 m、「Mode 1」(通信の安定性を重視したモード) の条件で測定

## ■ 入出力端子部

ヘッドホン	ステレオ、Φ 6.3 mm、110 mW、32 Ω (最大)
USB ポート (前面 / 背面)	タイプ A コネクタ USB 2.0 High-speed DC 5 V、500 mA (前面) DC 5 V、1 A (背面) USB Mass Storage class
ファイルシステム	FAT16、FAT32、NTFS
USB-B ポート (PC)	背面、タイプ B コネクタ
イーサネットインターフェース	LAN (100BASE-TX、10BASE-T)
デジタル入力	
光デジタル入力	光角型端子
同軸デジタル入力	ピンジャック
サポートフォーマット	LPCM
アナログ出力	
バランス出力	3 ピン XLR
アンバランス出力	ピンジャック
デジタル出力	
光デジタル出力	光角型端子
同軸デジタル出力	ピンジャック
サポートフォーマット	LPCM
システム接続	
システムコントロール	Φ 3.5 mm ジャック

## ■ USB 対応フォーマット

## USB-A

USB 規格	USB 2.0 High-speed USB Mass Storage class
--------	--

## USB-B

USB 規格	USB 2.0 High-speed USB Audio Class 2.0、Asynchronous mode
DSD コントロールモード	ASIO Native mode、DoP mode

## ■ Wi-Fi 部

規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac 準拠
周波数帯域	従来の 11a (J52) のみの対応機器と接続できません ARIB STD-T71 (5 GHz 帯) ARIB STD-T66 (2.4 GHz 帯) (5 GHz は屋内使用限定)
セキュリティ	WPA2™
暗号化方式	TKIP / AES
認証方式	PSK
WPS version	Version 2.0

## ■再生フォーマット

本機は以下の再生フォーマットに対応しています。

- 本機では著作権保護された音楽フォーマットは再生できません。
- 本機が対応している再生フォーマットでも再生できないことがあります。
- 本機が対応していない再生フォーマットを再生すると、音声途切れたりノイズが出る場合があります。その場合は、本機が対応している再生フォーマットを確認してください。
- 本機はVBR（可変ビットレート）に対応していません。
- 接続している機器およびサーバーによっては本機が対応していないフォーマット形式を変換して出力できるものもあります。詳しくは、機器およびサーバーの取扱説明書をご確認ください。
- 本機と再生ソフトで、表示されるフォーマット情報（サンプリング周波数など）が異なる場合があります。
- 使用するPCやアプリなどによって、対応するサンプリング周波数でも再生されない場合があります。正しく再生できない場合は、PCやアプリなどの設定をご確認ください。

### USB-A で音楽を再生する場合

	拡張子	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
MP3	.mp3	32, 44.1, 48 kHz	16 ~ 320 kbps
AAC	.m4a/.aac	32, 44.1, 48, 88.2, 96 kHz	16 ~ 320 kbps
WAV	.wav	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24, 32 bit
FLAC	.flac	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24 bit
AIFF	.aiff	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24, 32 bit
ALAC	.m4a	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24 bit
DSD	.dff/.dsf	2.8, 5.6, 11.2 MHz	

### USB-B で音楽を再生する場合

	拡張子	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
PCM		32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24, 32 bit
DSD	.dff/.dsf	2.8, 5.6, 11.2 MHz	

### DMP（デジタルメディアプレーヤー） / DMR（デジタルメディアレコーダー）で音楽を再生する場合<sup>※3</sup>

	拡張子	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
MP3	.mp3	32, 44.1, 48 kHz	16 ~ 320 kbps
AAC	.m4a/.aac	32, 44.1, 48, 88.2, 96 kHz	16 ~ 320 kbps
WAV	.wav	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24, 32 bit
FLAC	.flac	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24 bit
AIFF	.aiff	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24, 32 bit
ALAC	.m4a	32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192, 352.8, 384 kHz	16, 24 bit
DSD	.dff/.dsf	2.8, 5.6, 11.2 MHz	

※3：ネットワーク経由で音楽ファイルを再生する場合、本機が対応しているフォーマットであっても再生できる音楽ファイルは、ネットワークサーバーに依存します。たとえば、Windows Media Player 11 をお使いの場合、PCに入っているすべての音楽ファイルを再生できるわけではなく、Windows Media Player 11 のライブラリに登録されている音楽ファイルのみを再生できます。

注：上記の仕様は 2022 年 9 月現在の情報です。予告なく変更されることがあります。変更内容については、下記のサイトをご覧ください。

[jp.technics.com/support/firmware/](http://jp.technics.com/support/firmware/)

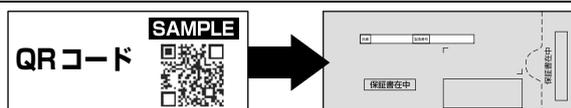
パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**商品登録**」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理  
登録商品のサポートも充実

詳しくはこちら  
<https://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 保証書用封筒に記載されている QRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます



使いかた・お手入れ・修理などは

まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	( ) -
お買い上げ日	年 月 日

■修理を依頼されるときは

「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)(⇒04)の「故障かな!?’でご確認のあと、直らないときは、電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ネットワーク / スーパーオーディオ CD プレーヤー
品番	SL-G700M2
故障の状況	できるだけ具体的に

- ・保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。  
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
- ・保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このネットワーク / スーパーオーディオ CD プレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support/>



**?** DIGA (ディーガ)・オーディオ 使い方・お手入れなどのご相談窓口

フリーダイヤル **0120-878-982** 受付時間 9:00~18:00 月~土曜日 (祝日・正月三が日を除く)

■上記電話番号がご利用 いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル ☎ **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan  
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787  
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays / national holidays)

**🔧** 修理に関するご相談窓口

フリーダイヤル **0120-878-554**

■上記電話番号がご利用 いただけない場合 **03-6633-6700**

<https://panasonic.jp/support/repair.html>



- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記の URL はお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検	長年ご使用のネットワーク / スーパーオーディオ CD プレーヤーの点検を!		
	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・煙が出たり、異常なおいや音がある</li> <li>・音が出ないことがある</li> <li>・内部に水や異物が入った</li> <li>・本体に変形や破損した部分がある</li> <li>・その他、異常や故障がある</li> </ul>	ご使用中
			故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社  
パナソニックエンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号  
© Panasonic Corporation 2022 - 2024

DVQX2722ZA/X1  
M0922YY1084

